

事務事業チェックシート

事務事業No 686 事業名 市民文化まつり開催交付金事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	文化振興課	坂井 正二	435-1194
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		文化スポーツ費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
中事業		市民文化まつり開催交付金事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 各種文化を育成するとともに各団体の輪を広げるために各団体を育成する。		全体事業概要 各種文化団体による舞台芸術の発表及び一般市民への芸術鑑賞の場を提供する。 交付先 市民文化まつり実行委員会 会長 上田 隆一 和歌山市民会館他 年間21回(舞踊・コーラス・民謡・オペラ等)				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
市民会館ほかにおいて通年開催 参加団体20団体		市民会館ほかにおいて通年開催 参加団体21団体	市民会館ほかにおいて通年開催 参加団体21団体	市民会館ほかにおいて通年開催 参加団体21団体 (予定)	市民会館ほかにおいて通年開催 参加団体21団体 (予定)		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	900	850	900	900	900	900	900	900	900	
伸び率(%)	-	-	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	801	861	861	1,036	1,227	1,337	3,132		
	正規職員以外	94	105	105	106	169	174	0		
	小計	895	966	966	1,142	1,396	1,511	3,132		
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	900	850	900	900	900	900	900	900	900	
所要人数(人)	正規職員	0.11	0.11	0.11	0.13	0.15	0.17	0.39		
	正規職員以外	0.05	0.05	0.05	0.05	0.08	0.08	0		
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 900千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
参加団体数	団体	目標値	21	21	21	21	21
		実績値	20	21	21		
		達成度(%)	95.2%	100.0%	100.0%		
参加人数	人	目標値	2,800	2,800	2,800	3,500	3,500
		実績値	2,689	2,334	3,092		
		達成度(%)	96.0%	83.3%	110.4%		
延べ入場者数	人	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績値	10,776	10,506	12,431		
		達成度(%)	71.8%	70.0%	82.8%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	イベント参加人数も毎年、目標を超えており適正な補助金額（増額）を検討する。
見直し・改善内容	適正な補助金額を検討する。